

科目名	基礎看護Ⅱ (看護とコミュニケーション技術)				DP1 DP2 DP6	看護高等課程	
学年	1年	分野	専門 基礎看護 基礎看護技術	時間数	25時間	担当教員	市川 豊子
科目概要	患者と関わる看護職者は、患者とはどのような状態にある人なのかということを感じ考えながら関わる必要がある。そのためには、多角的に患者を捉えることが重要で、その際心理学の視点が役立ち、健康な状態から病気を抱えた状態になるまでに人に起こりえる心理状態を理解し、人の行動が習慣化するための理由やきっかけがあることを理解することで、患者とのより良い人間関係を成立させるためのコミュニケーション技術を高める手立てとなる内容とした。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分自身が自分の適性・性格・感情さらに心の動きなどを正しく理解し、自分を冷静に統制するための知識を学ぶことができる。 2. 患者の示す心理や不適応行動について正しく理解することができる。 3. 様々な場面や時期における患者の心理の特徴を理解できる。 4. 関係構築のための看護としてのコミュニケーションの基本を理解できる。 5. プロセスレコードの書き方がわかり、自己のコミュニケーションについての振り返り方がわかる。 						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1	自分自身を知る	PSA 診断「ACTUS インクワイアリー読み解きワークショップ」、グループ演習による自己開示・他者理解				講義 演習	
2～12	コミュニケーションのための心理の理解	看護実践におけるコミュニケーションの意義と目的 コミュニケーションの基礎 患者・家族の心理の特徴 患者のおかれた状況と心理の理解 ライフサイクルにおける心理的な特徴 看護師の心理 事例演習				講義 演習	市川
	プロセスレコード	プロセスレコードとは何か、その方法（自身の感情と言動を表現する。プロセスレコードを活用して対人関係の相互作用をとらえる）				講義 演習	
	コミュニケーション技術	コミュニケーションの技法と実際 事例演習				講義 演習	
13	試験	(1時間)				試験	
評価基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価方法	出席状況と講義演習への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。また、演習の内容によっては、シミュレーション演習、パフォーマンス課題、ルーブリックに基づき内容等を吟味して総合的に評価を行う。						
教科書	看護学入門6 基礎看護Ⅱ 基礎看護技術 自己理解・他者理解を深める プロセスレコード 日総研 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							